



検査技術科学専攻の

在校生が答えます

Q & A Student's



自分の可能性を信じ、
最後まで諦めず努力すること、
きっと素敵な未来が待っています。

2016年入学
●出身高校/
滝川第二高等学校

後藤 真奈
Goto Mana

Q1 保健学科を志望した理由はなんですか？

A 高校1年生のときに本学のオープンキャンパスに参加して、初めて臨床検査技師という職業があることを知りました。血液検査、心電図など様々な方法から病気の原因を探るという検査技師の仕事に興味を持ち、検査技術科学専攻を志望しました。

Q2 どのような受験勉強をしてきましたか？

A 高校1.2年生のときは学校や塾で学習したことを中心に、3年生になってからは問題集を中心に勉強していました。解いていてわからないところは教科書に戻って熟読し、ポイントなどは直接書き込み、隙間時間に見返して覚えるようにしていました。

Q3 実際に入学してみてどうですか？

A 2年生から専門の勉強が始まり、自分の興味のある分野を詳しく学ぶことができます。また講義のたびに新しいことに出会えてとても楽しいです。サークル活動やアルバイトなども両立でき、毎日充実した生活を送っています。

Q4 受験生の皆さんにメッセージをお願いします。

A 受験勉強は本当につらく、長い戦いだと思います。私も3年生の時、思うように成績が伸びず、12月頃までとても合格できるようなものではありませんでした。しかし、絶対に合格したい!!という思いを胸に、最後まで諦めなかったことで今こうして憧れの大学に通うことができました。皆さんも自分を信じ、頑張ってください。



授業紹介

専門科目の一部を紹介します

細胞診断学講義演習

細胞検査士の仕事を知り、がんの検診や診断に大きな役割を果たす細胞診検査の基本的知識を習得します。細胞診検査の実施方法を理解し、正常細胞とがん細胞の形態学的違いがどこにあるかを、講義と演習を通じて学びます。

臨床化学／実習

臨床化学は病気を分子の異常として理解し、そこから新しい診断法を開発する学問です。人々がより健康に生きるための学問である健康科学とも強く結びついています。この科目では、病院で使われている生化学検査法を中心に原理や解釈を学びます。

微生物学

微生物生態系は物質循環の要ですが、一部の微生物は深刻な感染症を引き起こします。この科目では、生態系の中の役割や他の微生物との相互作用も踏まえ、ミクロの視点から病原体を理解することで、卓越した微生物の能力と感染症の脅威さらに感染予防策について学びます。

画像検査学

人体内部を画像化する超音波検査などの画像検査は、多くの病気の診断に決定的な役割を果たしています。この科目では、このような画像検査法の原理、装置、実施方法とともに、人体各部の正常像と病的所見の読影法を学びます。